

日本農業経済学会 2019 年度東京大学大会個別報告プログラム

Presentation Program The AESJ 2019 Annual Meeting

報告者への注意事項

- 1) 大会 2 日目の個別報告当日に、個別報告者用の受付窓口を設けます。大会参加手続きとは別に、自身の報告の前に必ず申請者（筆頭報告者）もしくは責任著者（特別セッションについては代表者のみ）はこの窓口にて所定の手続きをお願いします。
- 2) 配布資料、投影資料、ポスターはすべて申請した使用言語で作成してください。報告言語も同様です。
- 3) 口頭報告のプレゼンテーションファイルの提出先は以下のアドレスとなります。（[at]を@に置き換えてください）

oral2019[at]aesjapan.sakura.ne.jp

受付期日：3 月 15 日（金）午後 5 時まで

ファイル形式は **PDF ファイル** のみの受付となります。ファイルを受け付けた報告については学会 HP 上でご案内します。なお、当日のファイルの差し替えや新規提出はお受けしておりません。

- 4) ポスター報告の方は当日午前 9 時までにポスターの掲示を行ってください。撤去は午後 2 時頃を予定しています。

Notice

Dear applicants of oral/poster presentation

The office asks your registration for presentation at our secretariat desk in the meeting. In addition to the procedures of your entry in meeting, the applicant or corresponding author is required to visit this secretariat desk before your presentation. It will be available on 31th, March.

To applicant of oral presentation

Your presentation file (in **PDF format only**) must be submitted to the address below.

(Please use @ for [at])

oral2019[at]aesjapan.sakura.ne.jp

Due date: **March 15th, 2019 (Friday), 5:00pm**

You can confirm our acceptance of your presentation file at our website.

Note that any submission and change of presentation file at the venue is not allowable.

To applicant of poster presentation

Your poster must be put up on the board/place by 9:00am on 31th, March. Removal of your poster is scheduled for 2:00pm.

日本農業経済学会 2019年度大会 ポスター審査プログラム

Poster Presentation Schedule, 2019 AESJ annual meeting

(2019年3月31日東京大学 農学部)

(at The University of Tokyo, Faculty of Agriculture on March 31st, 2018)

会場 (Room) : 弥生講堂アネックス・セイホクギャラリー(Yayoi Auditorium, Annex)

グループ Group	プレゼン時間 Time	報告課題・報告者 (*印はコレスポnding・オーサー) Title, Authors (*: CA)	
1	1-1	11:00-11:10	Market Access and Land Use/Land Cover Change: Spatial Econometric Analysis using Satellite Data * Takeshi Sato (The University of Tokyo) Shigeo Ogawa (National Agriculture and food Research Organization) Hideo Aizaki (Hokkaido University) Taro Takahashi (Rothamsted Research) Nanae Yamada (Institute of Developing Economies) Yasuhiro Nakashima (The University of Tokyo)
	1-2	11:10-11:20	Japan-China-Korea FTA and its impact on GHG emissions in Japan * Hirokazu Akahori (Akita Prefectural University)
	1-3	11:20-11:30	Is Quality Matters for Agriculture in SSA?: A Case of Rice Marketing in Northern Ghana * Tatsuya Ogura (The University of Tokyo) Joseph A. Awuni (University for Development Studies) Takeshi Sakurai (The University of Tokyo)
	1-4	11:30-11:40	モーリタニアにおける消費者のコメ選好評価 —ベスト・ワースト・スケールリングによる接近— * 丸山 優樹 (筑波大学) 氏家 清和 (筑波大学) 入江 光輝 (宮崎大学) Cherif Ahmed (Institute of Science and Technology) Bouya Ould Ahmed (Institute of Science and Technology)
	1-5	11:40-11:50	ガーナ共和国アシャンティ州における住民の主食選択 * 林 浩平 (筑波大学) 丸山 優樹 (筑波大学) 飛田 八千代 (筑波大学) 氏家 清和 (筑波大学)
	1-6	11:50-12:00	経済ショックと子どもの健康 —農業生産と自家消費の役割 1998年インドネシア通貨危機の例— * 中村 亮太 (北海道大学) 近藤 巧 (北海道大学)
	1-7	12:00-12:10	中国都市部における食品リサイクルの課題と展望 —外食産業に注目して— * 張 薇 (東京農業大学大学院) 内山 智裕 (東京農業大学国際食料情報学部)
2	2-1	11:00-11:10	都市近郊における学校給食向け青果物の出荷コストと労力評価 —東京都内における農家調査結果から— * 八木 洋憲 (東京大学)
	2-2	11:10-11:20	酪農経営におけるトウモロコシサイレージ多給の経済的効果 —家族経営, 法人経営, 生産費調査の比較による経済性の評価— 森岡 昌子 (農研機構 中央農業研究センター) 恒川 磯雄 (農研機構 中央農業研究センター) * 西村 和志 (農研機構 中央農業研究センター)
	2-3	11:20-11:30	飼料収穫作業・機械体系間の作業性比較とコントラクターにおける技術選択に関する考察 —GPSロガーによるデータ収集と圃場区画規模別の作業・機械体系間比較— 清水 ゆかり (農研機構 中央農業研究センター) 恒川 磯雄 (農研機構 中央農業研究センター) * 西村 和志 (農研機構 中央農業研究センター)
	2-4	11:30-11:40	穀物の国際価格上昇が北海道・都府県の畜産業に及ぼす影響 * 福田 洋介 (農林水産省) 近藤 巧 (北海道大学)
	2-5	11:40-11:50	日本農業の長期経済統計の推計と分析: 1963~2011年度 * 高山 航希 (株式会社農林中金総合研究所) 高橋 大輔 (拓殖大学)
	2-6	11:50-12:00	中山間大規模水田作の複合経営モデルの策定 —高付加価値・労働集約型部門と粗放的農地管理部門を組合せたメリハリ・モデル— * 渡部 博明 (農研機構 西日本農業研究センター) 坂本 英美 (農研機構 西日本農業研究センター) 千田 雅之 (農研機構 西日本農業研究センター)
	2-7	12:00-12:10	気候変動が米生産にあたる質と量の変化の評価 —代表的な3つの品種を対象として— * 西原 是良 (早稲田大学) 高橋 大輔 (拓殖大学) 福井 眞 (早稲田大学) 吉田 龍平 (福島大学) 玉城 絵美 (早稲田大学)